様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日　2024 年　1 月 18 日

１．職名・氏名　教授・吉浦康寿

２．学位　博士　、専門分野　魚類生理学　、授与機関　東京大学　、授与年　1997

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①　担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 一年次：生物学 II（2 単位：分担 5 コマ）、フィールド演習（2 単位：分担 5 コマ） 二年次：水族発生工学（2 単位：15 コマ）、生物学実験（2 単位：分担 4 コマ）、養殖学概論（2 単位：分担 1 コマ）、分子生物学（2 単位：分担 4 コマ）
②　内容・ねらい 今後の専門教育に必要な生物学の基礎を習得するとともに、これらを理解した上で、養殖学、水族発生工学の基礎と応用への理解度を深める。
③　講義・演習・実験・実習運営上の工夫 パワーポイントによるイラスト。動画を多く取り入れた分かりやすい授業を行うとともに、要点をまとめた配布手元資料を配った。また、必要に応じて、授業後に学生が理解を深めるためのレポートも課した。
(2)その他の教育活動
内容

４．研究業績

(1)研究業績の公表

①著書

【　本】

②学術論文（査読あり）

【　本】

③その他論文（査読なし）

【　本】

④学会発表等

1. 真骨魚類の鰓に特異的な転写因子 Spi-C 発現細胞は mpeg1.1＋マクロファージ様細胞である 矢倉卓磨・林忠弘・杉浦羅央・清水友斗・大谷真紀・吉浦康寿・瀧澤文雄・宮台俊明・末武弘章 2023 年日本水産学会秋季大会　2023 年 9 月

2. 蛍光タンパク質遺伝子挿入によるクサフグの不妊形質の可視化　吉川廣幸・井野靖子・岸本謙太・木下政人・吉浦康寿 2023 年日本水産学会秋季大会　2023 年 9 月

3. 歯周病原細菌 Porphyromonas gingivalis (Pg)投与した NASH モデルメダカの病態解析 下本歩・黒柳美和・吉浦 康寿・坂本 丞・亀井 保博・神谷重樹　第 62 回日本栄養・食糧学会近畿支部大会　2023 年 11 月

4. 歯周病原細菌 Porphyromonas gingivalis (Pg)投与による NASH モデルメダカ病態への影響　下本歩・吉浦康寿・黒柳美和・坂本 丞・亀井保博・神谷重樹　第 46 回日本分子生物学会年会 2023 年 12 月

5. エピジェネティック修飾サイトの消失がメダカ消化管長の可塑性主導進化を促進する 勝村啓史・佐藤克・山下佳那・尾田正二・覚張隆史・田中翔大・藤谷和子・西槇俊之・今井正・吉浦康寿・武島弘彦・橋口康之・関田洋一・三谷啓志・小川元之・竹内秀明・太田博樹 第 46 回日本分子生物学会年会 2023 年 12 月

6. Improvement of aquatic display system and preliminary behavioral experiments of fish toward VR Biology Ryosuke Ichikawa, Toshiyuki Amano, Yasutoshi Yoshiura, Masaki Yasugi, Shiro Suyama, and Hirotsugu Yamamoto 22nd ISOT 2023 (International Conference on Optomechatronic Technology) December 2023

【6 件】

⑤その他の公表実績

学会紀要

1. Automatic identification of tiger puffer in an aquaculture tank using deep learning Atsushi Ito; Yusuke Fukushima; Hirotsugu Yamamoto; Yukitoshi Otani; Shiro Suyama; Masaki Yasugi; Yasutoshi Yoshiura Date Published: 8 December 2022 Proc. SPIE 12480, Optical Technology and Measurement for Industrial Applications Conference 2022, 124800H (8 December 2022); doi: 10.1117/12.2660183

【1 本】

(2)科研費等の競争的資金獲得実績
【学外】 多重反射による空中ディスプレイの薄型化と水中 CAVE への応用～魚に映像を見せる～ 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(S) 2020 年 8 月 - 2025 年 3 月 山本裕紹、吉浦康寿、大谷幸利、八杉公基、陶山史朗、伊藤篤、石川智治 生殖細胞欠損魚への生殖腺内生殖細胞移植を介した早期配偶子生産法の開発 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 2021 年 4 月 - 2024 年 3 月 吉川廣幸、木下政人、吉浦康寿 「イノベーション創出強化研究推進事業」【開発研究ステージ】 令和 4 年度～令和 8 年度（5 年間） 研究統括　細谷将（東京大学）、参画機関　長崎水試、福井県立大学、マルハニチロ リージョナルフィッシュ株式会社との共同研究「養殖魚の不妊化」 令和 4 年 8 月～令和 6 年 9 月 リージョナルフィッシュ株式会社との共同研究「二枚貝の突然変異誘発法の開発」 令和 5 年 8 月～令和 7 年 3 月 2023 年度 基礎生物学研究所 個別共同利用研究（継続課題） 「受精を標的とした魚類の不妊化技術に関する基礎的研究」 2022 年 10 月～2024 年 3 月 【学内】 令和５年度　３０周年研究プロジェクト　輸入品目を福井県産へ“地域で完結する新規カキ養殖技術”研究分担
(3)特許等取得
(4)学会活動等
学会の開催運営（日本水産増養殖学会第 21 回大会（2023 年 12 月 2 日～3 日）、福井県立大学かつみキャンパス）

５．地域・社会貢献活動

６．大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
小浜キャンパス親睦会委員、ランチタイムセミナー委員
(3)学内行事への参加
オープンキャンパスの運営、福井県立大学公開講座の講演
(4)その他、自発的活動など